

【精巣捻転症】の【診断・治療】のため、当院に入院・通院された患者さんの【診療記録、検査データ】を用いた医学系研究に対するご協力をお願い

研究責任者 所属 泌尿器科学教室 職名 准教授
氏名 浅沼 宏
実務責任者 所属 泌尿器科学教室 職名 特任助教
氏名 寺西 悠
連絡先電話番号 03-6353-3825

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院された患者さんの【診療記録、検査データ】を用いた下記の医学系研究を、医学部倫理委員会の承認ならびに病院長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる、患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨を「8 お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出下さいますようお願いいたします。

1 対象となる方

【泌尿器科外来・病棟】にて【精巣捻転症】の【診断および治療】のため【入院もしくは通院】し、【診療、手術、検査など】を受けた方

2 研究課題名

承認番号 20190327

研究課題名 精巣捻転症の早期診断・早期治療に関する研究

3 研究実施機関

慶應義塾大学医学部<<泌尿器科学教室>>・慶應義塾大学病院<<泌尿器科外来・病棟>>

4 本研究の意義、目的、方法

精巣捻転症は、突然起きる陰囊の強い痛みと陰囊の腫れで気が付く病気です。精子を作る精巣や、精子の通り道がねじれることで、治療が遅れると精巣が腐ってしまい、精子が造られなくなってしまうとてもこわい病気です。痛みが出てから4～6時間以内に手術をしなければいけません。精巣捻転症は病院への行くのが遅れたり、また夜中に痛くなることが多いので、他の病気との見分け方や手術までの準備に時間がかかり、結果的に精巣を失ってしまうこともあります。

精巣捻転症の対策としては、症状が出てから早く病院を受診すること(早期受診)と早く治療すること(早期治療)がだいじです。早期受診に関しては、中高生を対象に授業やアンケートをしております。早期治療に関しては、病院に来院時の症状を点数化することで、早期診断が可能かどうか、手術を行えるかを検討しております。

当研究に同意された方は何卒ご協力のほど宜しくお願い致します。

5 協力をお願いする内容

精巣捻転症の診療に関する診療記録、臨床検査データ（血液、尿）、診断用画像（MRI、CT、腹部エコー）

当研究のために新たに行う診察や検査はございません。

6 本研究の実施期間

研究実施許可日（通知書発行日）より西暦 2029年12月31日 まで

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、【氏名および患者番号】のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの【診療記録、検査データ】は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものか一切わからない形で使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と、匿名化した【診療記録、検査データ】を結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また研究計画書に記載された所定の時点で完全に抹消し、破棄します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人（ご本人より本研究に関する委任を受けた方など）より、【診療記録や検査データ】の停止を求める旨のお申し出があった場合は、適切な措置を行いますので、その場合も下記へのご連絡をお願いいたします。

【所属 泌尿器科学教室 職名 特任助教 氏名 寺西 悠 連絡先電話番号 平日 9時-17時 03-6353-3825】

以上